



豊寿園
FRUITFUL TREE
豊かな樹

Autumn 2018

Vol. 40

JAPANESE RED CROSS

SOCIETY FUKUOKA

PREFECTURAL CHAPTER

THE SPECIAL NURSING HOME

HOJJYUEN

TOPICS

MORE CROSS

HOJJYUEN×FAMILY

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOJJYUEN'S ALBUM

SPECIAL SECTION

トピックス

花壇の整備を行いました！

豊寿園の入口にある赤十字型の花壇にポチュラカを植栽しました。赤い花々が咲いて、綺麗な赤十字のマークが出来上がりました。



救急法の研修会を行いました！

9月7日、8日に、AEDを用いた心肺蘇生法の研修会を行いました。8日は豊寿園で活動していただいているボランティア団体、北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会の皆さんも、職員に交じて参加されました。



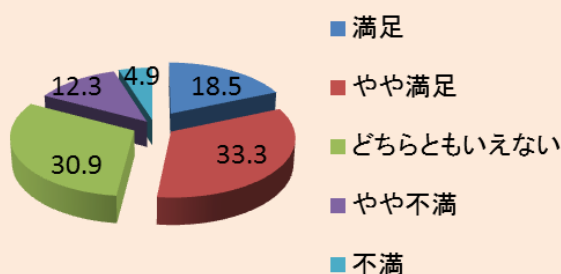
消防訓練を行いました！

8月8日に、今年度第1回目の消防訓練を行いました。夜間に居室棟から出火したという想定で、初期消火・通報・避難誘導の手順を確認しました。

ハートミーティングを開催しました！

7月25日・8月8日に、園長主催の全体会議「ハートミーティング」を行いました。今回の会議では、昨年度末に実施した全職員対象の従業員満足度アンケート集計結果の公開と対応策の説明、園長との意見交換を行いました。豊寿園では、職員がイキイキと働きやすい職場づくりを目指しています。

仕事への満足度



メンタルヘルスの研修会を行いました！

8月22日に、福岡県介護労働安定センターのご紹介でプログレスの河津佳江先生にお越しいただき、メンタルヘルスの研修会を行いました。

河津先生からはストレスとの付き合い方や自分自身のメンタルヘルスを整える方法などを中心にご講義いただきました。





7月27日
若園校区の連絡協議会で介護家族の支援について講義を行いました！

北九州市小倉南区社会福祉協議会よりご依頼いただき、同区若園校区の連絡協議会の会合へ、奥水介護課長が出講しました。当日は、認知症高齢者を介護されている家族の支援について講義を行いました。



8月3日
毎年恒例。夏休み福祉体験講座が豊寿園で開催されました！

北九州市門司区社会福祉協議会が毎年開催されている「夏休み福祉体験講座」が、豊寿園を会場に今年も開催されました。当日は小学生18名の参加があり、介護や看護のお仕事や、利用者様との交流を体験していただきました。



9月5日
ボランティアさんとの意見交換会を行いました！

豊寿園で活動いただいているボランティア4団体25名の方々にご参加いただき、意見交換会を行いました。活動中に感じた園に対するご意見をいただいたり、園からのお願いなど、様々な意見交換を行いました。

9月28日
中学校の福祉体験学習へ出講しました！

北九州市立松ヶ江中学校で行われた福祉体験学習で、坂根在宅介護係長が車いすの操作方法について講習を行いました。

向き合ってる あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回、奥水介護課長のインタビューを受けてくださったのは、中山 よし子様です。現在、豊寿園のデイサービス、ショートステイを利用されながらお義母様をご自宅で介護されています。ご自宅で、義母様と一緒にこれまでの体験談をお話いただきました。

— 私の実母はスミちゃんに嫉妬してましたね。—



今回インタビューに応じてくださった 中山よし子様
お義母様の 中山澄江様

スミちゃんは結婚するまでは電話交換手をして、結婚してからは専業主婦として、主人を育ててきたそうです。畑仕事や花を育てるのが好きで、庭でもいろいろな物を育てていました。私は主人と結婚して2年は大阪にいたんですが、主人が長男なので門司に帰ってスミちゃんとの同居を始めました。最初はまだ若い頃だったので内心はね：(笑)。もう40年以上です。自分の親よりも付き合いが長くなって、私の実母はスミちゃんに嫉妬してましたね。義父の介護もこの家でスミちゃんと一緒に3年間しました。今のように便利な紙おむつも無かったので、布に綿を挟むなど工夫をしていました。30数年前

の頃です。スミちゃんは、元々穏やかはお姑さんで、何でも一人でして、とても几帳面でした。家事なんかもしっかり教えていただきました。若い頃は反発も随分しましたけど(笑)。

— スミちゃん自身も『どうも頭がおかしい』と言っていました。—

認知症の症状が出はじめたのは平成16年頃だと思います。その頃私たち自身は『認知症』というのを知りませんでした。一緒に大学生の娘の所に遊びに言った時、娘の物をやたらと触ったりしていたので何となくおかしいな、と感じていました。そして、味覚が変わっていき、好きだったものを食べなくなったり、お風呂に入らなくなりました。結局1ヶ月も入らなくて、着替えもなかなかしてくれませんでした。私たちも『何かおかしい』、と思っていました。スミちゃん自身も『どうも最近頭がおかしい』と口にしていました。それからだんだんと、何もしくなくなりました。急激に怒りっぽくなりましたね。妄想というのでしょうか、『誰か来た』と言って夜に外へ出ようするようになりまして。私たちも注意はしていましたが、知らない間に出てしまわないように玄関の鍵を二重にするなどして対応していました。あとやつぱり一番は排せつの問題ですね。オムツを付けるようになるまでは、毎日が戦いでし

た(笑)。スミちゃん自身がトイレの感覚が鈍くなってきたので、義父の時と違っていろいろ便利な紙オムツもありましたからそれを使ってもらったんですが、失敗してしまったことを自分で何とかしようとするんでしょうか、オムツを自分で脱いで投げ捨てたり、大便を自分で後始末できなくて洋服に付けてたりするようになりました。

今まで几帳面なお姑さんだったスミちゃんが変わってしまったって、トイレの失敗をするようになったという事に、私自身が激しく動揺してしまい、毎日、『大変だ、大変だ』と感じられて本当に苦しい時期でした。



「好きで入院させるんじゃない」と強く一喝したんです」

平成22年にスミちゃんが自宅で転んで膝を7針縫う怪我をしたんです。その後からだんだんと食欲が無くなってきた、血便が出るようになったので総合病院を受診したら下部消化管出血ということで入院することになりました。その時、病院の方が「認知症がありしていたら、病院の方が認め症がありそうだから入院はさせられない・」みたいな話をしているのが聞こえてしまってたんです。当時の私はスミちゃんの対応で精神的に一杯いっぱいだったのもありますが、「好きで入院させるんじゃない」と強く一喝したんです。態度が変わりましたね。入院できました(笑)。

その時は一か月くらいの入院でしたが、私にとつて大きな転機でした。面会に行つた時に、病棟の看護師さんがスミちゃんのオムツを代えてくれたので、「すみません、ありがとうございます。』と感謝を伝えました。そしてその看護師さんから、「下の世話なんかは別に大変な事じゃないですよ。」と言われたんです。その時にハッと落ち着いて考えることが出来るようになったんです。それからは、スミちゃんがトイレを失敗しても、「生きていれば当たり前なことなんだ」と割り切れるようになりまし

総合病院を退院することになって、それまでは私たちだけでスミちゃんを見てましたが、介護保険を利用することになりました。ケアマネジャーさんに付いてもらってサービスを相談し、最初は訪問看護の方に来てもらうようになりまし

ました。その時、初めて介護のプロの方々と接したんですが、介護の技術的なことは色々教えていただけ、とても楽になりました。

それから、ケアマネに家から出かけるサービスの利用も勧めてもらい、その頃豊寿園にも見学に行きました。そして平成23年からはデイサービスとショートステイを利用するようになりました。今はデイで刺激をいっぱい受けてもらつて、ショートステイの時に、私たち家族のお出かけもできているのでとても助かっています。

「介護から逃れるために、仕事をしているんです(笑)」

仕事は今も続けています。周りから「仕事をしながら、家で介護をするのは大変そう」とよく言われますが、介護から逃れるために、仕事をしているんです(笑)。仕事がストレスの発散になってます。楽しいし、本当に充実しています。それに一人で介護しているわけではないし、夫も息子も手伝ってく

れています。息子は「スミちゃんのオムツ交換が大変そうだ」と自分でやり方を覚えてくれました。一人では介護はできません。今は豊寿園さんにお世話になっているので、肩の荷が軽くなった気分です。

「実は入所は考えていないんです」

入所の事もよく勧めてもらおうんですが、入所を待つてる人もまだまだ多いと聞きますし、実は考えていないんです。スミちゃんは家が一番な人なんです。色々支援してもらいながら、私たち家族と一緒に、最後までこの家で過ごしてもらいたいと思っています。



デイサービスで
納涼会に参加された時の中山様

この笑顔をいつまでも見せていただけるよう、豊寿園一同、中山様とご家族を支援させていただきます。

地域ぶらり情報



木々の中の小さな雑貨店

豊寿園より県道25号線を門司港方面に進み、黒川西のバス停を過ぎると、左側に小さな看板が見えてきます。その道を左折し奥へ進んでいくと、右側に木々に囲まれた小さな雑貨店「こぼと雑貨店」があります。お隣にある店主のご主人が営む創作家具工房のショールームとして使用していた所を改装し、2年前に雑貨屋としてOPENされました。店内には、店主が好きな物や使って良かった物等をセレクトした、ナチュラル雑貨が置いてあります。店主のお気に入りには『マトリョーシカ』雑貨店では置いていない所が少なかったので、「ぜひ自分のお店で売りたい!」と思ったそうです。熊や猫のマトリョーシカは表情や耳が可愛いですよ。『千代治の靴下』は、履き口がゆるく作ってあり、底がパイル地になっていて、とてもはき心地が良い靴下です。九州ではまだ取り扱っている店がないので、ぜひ手に取ってみてください。木工の温度計や小鳩の時計など、店主のご主人が作った木工雑貨もいくつも置いています。季節に合わせて商品やお店の周りの風景も変わるので、四季折々の変化を楽しんでみてはいかがでしょうか。

こぼと雑貨店

北九州市門司区大字黒川288-1

TEL 090-6418-9292

OPEN 金・土・日曜

11:00~16:00



10月27日、28日に門司港グランマーケットにも出店されます!

人事異動のお知らせ

平成30年12月1日付 豊寿園の人事異動をお知らせいたします。

【配置換え】

荒木 敬一郎 (施設介護係長 兼 施設ケアマネジャー → 通所介護係長 兼 デイサービスセンター管理者へ)

荒木 美奈 (通所介護係長 兼 居宅ケアマネジャー → 生活相談係長 兼 居宅ケアマネジャーへ)

森 英樹 (生活相談係長 → 施設介護係長 兼 施設ケアマネジャーへ)

あとがき

今年はとても台風の多い一年のようです。今号を編集している途中にも台風24号、25号が全国で猛威を振るいましたが、豊寿園では幸い建物も含め、被害はありませんでしたが、災害への備え等を検討しています。

季節は変わり、食べ物のおいしい秋になりました。8月の職員健康診断を終えた今、元々、ムラの多い努力家である私は誘惑に負け続け、ズボンが苦しい日々を送っています(汗)。

さて、今回の豊かな樹では夏から秋にかけての取り組みや行事などを紹介しています。今回も是非ご一読下さい。

平成30年度広報担当 森 英樹



今回のCOVER

今回表紙を飾ってくれたのは、豊寿園の医務課で看護師として勤務している、有松尚子さんです。愛娘の羽咲(うさ)ちゃんとうつ(とわ)ちゃんと一緒に仲睦まじい様子を撮影させていただきました。

介 護 一 日 メ モ C A R E M E M O

今回のテーマは「ノロウイルスと園内の食中毒予防策」についてです。 文責：長崎真紀子(管理栄養士)

ノロウイルス感染症とは？



乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こす、ウイルス性の感染症です。長期免疫が成立しないため何度もかかります。主に冬場に多発し、11月頃から流行がはじまり12月から2月にピークを迎えますが、年間を通して発生します。

ノロウイルス感染症の特徴とは？



原因ウイルスであるノロウイルスの増殖は人の腸管内のみですが、乾燥や熱に強いうえに自然環境下でも長期間生存が可能です。感染力が非常に強く、少量のウイルス(10~100個)でも感染発症します。潜伏期間は12時間から48時間で、突発性の嘔吐・吐き気・腹痛や水のような下痢症状が特徴です。

ノロウイルス感染症にはどうやって感染するの？



ノロウイルスは主に口を介した感染でノロウイルスに汚染された二枚貝(主に牡蠣)などを摂取することで感染する場合と、人から人に感染させる場合とがあります。感染者の便や嘔吐物には大量のウイルスが存在しています。例えば便1gに10億以上のウイルスが含まれています。

トイレでの排便時、汚物の処理に手が汚染されます。その手を介して、水道の蛇口、洗い場などがノロウイルスに汚染され、さらにそこから他の人に感染が広がっていきます。また症状は治まった後も1ヶ月も便中にウイルスが排泄されることもあります。

ノロウイルスは、アルコールが効きにくいウイルスです。そのため、アルコール性の手指衛生剤よりも「流水と石けんによる手洗い」がおすすめです。トイレ後の手洗い、調理前の手洗い。当たり前のことを徹底して行いましょう！

豊寿園の食中毒、感染症予防対策

豊寿園では、利用者様への家庭で手作りした食品・生ものの差し入れはご遠慮いただいています。生ものの例としては、刺身・塩辛・漬け物・佃煮・梅干し・家庭でカットした果物などです。

またシュークリーム・ゼリー・ヨーグルト・プリン・水羊羹などの要冷蔵商品は、保冷バックなどに入れてお持ちいただくなど十分に注意をお願いします。特に、おはぎは賞味期限が比較的短く、保存状態によっては腐りやすい食品です。

差し入れをお持ちになった際には、必ず、職員へ内容をお知らせ下さい。

差し入れについて、ご不明な点やご意見などございましたら職員へお声掛けください。

園内での感染症まん延予防に、ご協力をよろしくお願いいたします。

敬老会



9月 ご家族、ご来賓の方々にご列席いただき、敬老会を開催しました。
今年度最高齢の利用者様は104歳を迎えられました！



七夕



音楽の集い



8月 大正琴愛好会の皆さんにお越しいただき、鑑賞会を行いました。



7月 新門司保育所の園児さんにお越しいただき、七夕の飾りつけと交流会を行いました。

デイサービス



バスハイク



9月 門司港レトロにバスハイクに出かけました。
とても良い天気で散策を楽しめました。

七夕



7月 七夕の飾り付けをしました。
願い事が叶いますように・・・



納涼会



8月 納涼会を開催しました。 久しぶりに浴衣や甚平を着て喜ばれていました。

座

談

会

You were young in those days.

— どうして豊寿園に就職したいと思ったのですか？ —

川上典子 : 私は専門学校で先生に勧められました。一度、見学もさせてもらって、「ここで働きたい」と思いました。

保崎好子 : 私は資格をとってからグループホームで働いていたんですが、特養というところにとっても興味があって、ちょうど、募集があったのですぐに応募しました。



— 入職当時と今とを比べると、どこが、どう変わったと思いますか？ —

益田佳吾 : やっぱり結婚して子供が出来たことですかね。豊寿園に来た頃よりも幸せです(笑)。けどその分、絶対に辞められないというプレッシャーも感じますが…(笑)。

保崎好子 : グループホームで働いている時もそうでしたが、豊寿園に来てから特に『認知症』に対しての関心は高くなりました。豊寿園では、認知症についての研修や勉強会も定期的に行われるので勉強になります。

TALK ✕ TALK

— 豊寿園に入職して、良かったと思うところはどこですか？ —

川上典子 : 私は東日本大震災の時に介護チームとして岩手県に行かせてもらったんですが、そういった介護以外の事にも携わる事ができることや、全国にある赤十字の福祉施設の研修会で他施設の取り組みを知ることができるというのは赤十字の施設ならではの、と思います。

益田佳吾 : とにかく、職員同士仲が良く、雰囲気がとても良いところだと思います。今年は1階で新しい取り組みをしていますが、周りが協力的なのでとてもやりやすいです。



— これから豊寿園で成し遂げたいことはありますか？ —

川上典子 : 結婚しているので今は育児と豊寿園での仕事がきちんと両立できるように頑張りたいです(笑)。

保崎好子 : 豊寿園が今よりも利用者様や地域の方々から評価していただけるように、私も出来ることを頑張りたいと思います。

益田佳吾 : 介護福祉士として常に進化し続けていきたいです(笑)。

THE HISTORY OF HOJUYUEN

豊寿園の歴史を彩ってきた職員達を、順番にご紹介していくコーナーです。
7回目は、平成19年から20年に入職した職員3名をご紹介します。

同期入職者の紹介 You were young in those days.



川上 典子

特養棟1階 介護職員
兼 施設ケアマネジャー

平成19年に20歳で豊寿園に入職。特養棟2階、デイサービスでの勤務を経て、平成30年より現職。一児のママで時短勤務をしながら家庭と仕事を両立中。趣味はバレーボール。



保崎 好子

デイサービス 介護職員

平成20年に40歳で豊寿園に入職。特養棟2階での勤務を経て平成29年より現職。消防団仕込みの元気印。趣味は寝る事。



益田 佳吾

特養棟1階 介護職員

平成20年に25歳で豊寿園に入職。特養棟2階での勤務を経て平成26年より現職。2児の父。趣味は食べ歩き。

At that time you were young



平成19年入職当時の写真



平成20年入職当時の写真



平成20年入職当時の写真

Autumn 2018

vol.40

TOPICS

MORE CROSS

HOUJYUEN* FAMILY

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOUJYUEN* S ALBUM

SPECIAL SECTION



FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN